

## 尾瀬の生きものたち

※私たちが尾瀬で見つけた生きものを紹介します!!



ミズバショウ



カキツバタ



アカハライモリ



ギンリョウソウ



ハッチョウトンボ



ヒツジグサ



ナガバノモウセンゴケ



ワタスゲ



クマ (剥製)

## 尾瀬国立公園にて

令和4年7月1日 多那小学校5,6年生



### 鹿害について

湿原の中に鹿の足跡を多数見つけました。枝の途中から折られてしまった木や木の幹の皮がはがされてしまった木も見つけました。ガイドさんから鹿の数がが増えてしまっていて問題になっていることを教えてもらいました。



### 尾瀬の環境を守る取組について調べました。

## 尾瀬の自然について

※私たちが感じた尾瀬の自然について紹介します!!



○至仏山には、まだ少し残雪がありました。尾瀬ヶ原から至仏山、燧ヶ岳をながめられました。

○昨年は雪が多かったため、倒木が多かったそうです。山の鼻に向かう途中で下草を食べる鹿がいました。



○池とうにはヒツジグサが生えていて、アカハライモリやゲンゴロウ、おたまじゃくしが見られました。

○鳩待峠から山の鼻にぬけるまでの間に小川がありました。水がきれい川底まで見えるので、橋の上からイワナを見つけることができました。



### 木道

尾瀬には約 65 km にもなる木道が整備されていました。国際森林認証 (FSC) の焼印のある木道や入口には種子落としマットもありました。



### 歩荷さん

尾瀬の山小屋に食料や日用品などを運ぶ際は、歩荷さんをお願いするそうです。荷物は、100kg を超えることもあることを聞き、驚きました。



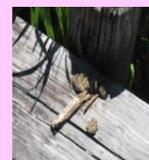
### 鹿害を防ぐ

尾瀬へ行く途中、鹿の侵入を防ぐ鉄柵を見つけました。尾瀬の植物が食べられないようにしたり、踏み荒らされた湿原を守ったりするための物だそうです。



### ごみ問題

尾瀬ではごみ持ち帰り運動が行われていました。今では多くの人々がボランティアとして清掃活動や木道や登山道の保護をしているそうです。



### 尾瀬のトイレ

尾瀬のトイレは、鳩待峠に1カ所、山ノ鼻地区に1カ所ずつありました。トイレの水で湿原を汚さないための工夫がたくさんありました。



## 尾瀬学習をして

5年 男

実際に尾瀬をおとずれてみて、尾瀬では昼間でも鹿が出てくるくらい鹿が増えていることが分かった。これほどいたら、鹿を駆除することも仕方ないことだと思った。

6年 男

尾瀬は、動物たちが心地よく住める場所だということが分かった。人が多く入ることで、自然を壊してしまうので、少しでも自然を守る活動を進めないといけないと思った。

6年 男

尾瀬にはたくさんの動植物がいて、その動植物を真剣に守っている人がいることが分かった。ぼくたちが歩いた木道も直してくれている人がいることを考えると、大切にしなければならなかったと思った。

6年 男

尾瀬を実際におとずれて、たくさんの植物やイモリ・トンボなどの生物を見ることができてよかった。尾瀬の湿原を私たちがこれからもずっと守り続けていくことが大切なんだと思った。

5年 男

尾瀬にはいろいろな水生生物がいることが分かった。尾瀬にいる水生生物が減らないでほしいと思う。そのために、ぼくたちができることをしていきたいと思った。

5年 男

鹿による踏み荒らしや食害などの被害がないように尾瀬を管理している人達には鹿対策をがんばってほしいと思う。そして、未来の鹿対策をどのようにしていくのか気になる。

5年 女

尾瀬の自然を守るために、トイレではお金を集めていることが分かった。目に見えない生物(微生物)の力を利用することは便利なことだと感じた。

5年 女

自然に与える影響を最小限に抑えながら自然とふれあうことができるよう、木道が敷かれていることが分かった。また、水を汚染しないように浄化そうが設置されていることが分かった。また、尾瀬に行ったらぼ金などに協力したい。

5年 女

尾瀬に来る人々が昭和47年からゴミの持ち帰り運動を実施していることが分かった。実際に尾瀬に行って調査した時には、木道の上にサンダルが落ちていたので、尾瀬の自然がこわされないか心配。

5年 女

尾瀬では、尾瀬を支える人がたくさんいることが分かった。歩荷さんは大変だけれど、山小屋の人はとても助かることが分かった。東京電力が尾瀬の敷地を管理していることも分かった。